

子ども文化体験教室

-土曜日の教育活動-

■概要

子ども文化体験教室は、市内在住・在学の小中学生を対象とした文化体験型の講座です。

■特徴的なこと・工夫していること

北名古屋市文化協会所属クラブが講師となって講座を行いました。

■プログラム内容

苔玉作り体験教室、茶道体験教室、七宝焼体験教室（2回開講）

■課題

作品がすぐに完成し時間が余ってしまうことや、設備の都合で他の受講生の作業を待たなければならない時間があるなど時間管理が課題となった。そのため講座の所要時間を確認し内容をより充実させる必要がある。

■成果

普段体験することができない日本固有の文化に触れる貴重な機会となっています。

子供たちは楽しみながらも真剣に取り組み、完成した作品を誇らしげに持って帰る姿も見られました。

■活動の様子



七宝焼体験教室の様子

■開催状況

年3講座
(苔玉作り体験教室：7月、茶道体験教室：8月、
七宝焼体験教室：8,9月)

■主な活動場所

名古屋芸術大学アートスクエア工作室
名古屋芸術大学アートスクエア 和室

■参加人数

計64名
(苔玉作り体験教室：16名、茶道体験教室：17名、七宝焼体験教室：15名,16名)

■指導員数

計10名
(苔玉作り体験教室：3名、茶道体験教室：3名
七宝焼体験教室：各回2名)

サタデーキッズクラブ

「地域が子供を育てる」環境づくりを目指して

■概要

学校週5日制の実施に伴い、休日を有意義に過ごせるように土曜子ども教室を実施しています。
市内在住の小学生が対象です。4月と8月に広報折込チラシ及びホームページにて参加者の募集をしています。

■特徴的なこと・工夫していること

伝統芸能や歴史・文化関係など、学校や家庭などの普段の生活では触れ合うことができない教室を実施しています。

多くの児童が参加できるように、申込みを最大3教室に限定するなど工夫しています。

■プログラム内容

キッズアートラボ、山車にふれよう、スイミング、和太鼓、茶華道など

■課題

広報やホームページにてサタデーキッズクラブを周知していますが、初めて参加する児童が少なく、参加する児童が固定化してしまっています。

講師の高齢化に伴い、講師の世代交代が必要ですが、ボランティアのため、新しい講師の確保をいかに進めるかが課題です。

■成果

同学年の仲間だけでなく、異学年や地域の大人との交流によって社会性や協調性を養うことにつながっています。

行政、学校、家庭、地域と連携を図り、「地域が子供を育てる」理想的な環境づくりに貢献しています。

■活動の様子



■開催状況

年間14教室

■主な活動場所

公民館・美術館など

■参加人数

約20～30人／回

■指導員数

約3人／回

わくわくくらぶ

総合型地域スポーツ・文化クラブ

■概要

「わくわくくらぶ」は、子供たちが家庭や学校で身につけた資質や能力を発揮し、地域で様々な自主的な体験活動を積み重ねることができるよう、ボランティアによる指導者のもと主に月1～2回程度実施しています。

■特徴的なこと・工夫していること

地域ボランティアや地元企業の職員の協力等により様々なプログラムを実施しています。

■プログラム内容

チェックボール、バスケットボール、陶芸、吹奏楽など

■課題

一部プログラムで指導者の後継者育成が課題に上がっています。

また、各プログラムを土曜日に実施するため、複数のプログラムが同日に行われた場合に、参加する子供の選択肢が狭まるという課題もあります。

■成果

多くのプログラムを実施することで、子供たちの居場所作りや経験の蓄積につながっています。

■活動の様子



■開催状況

主に月1～2回

■主な活動場所

社会教育センターなど

■参加人数

約15人/日

■指導員数

約5人/日

ロボット塾

-全5回講座 年間3期実施-

■概要

レゴロボット製作キットを使ってロボットを組み立て、プログラミングができる「ロボット塾」を地域のNPO法人に委託の上、開催しています。

「できた！」の感動から、物づくりの喜びとチャレンジすることの楽しさが体感できます。

■特徴的なこと・工夫していること

学校の長期休暇期間を利用して自由研究に役立てられるようにしています。プログラミングの専門的な知識を有した講師が実施しています。

■プログラム内容

レゴロボット製作キットを使ったロボットの組み立て

■課題

台風接近が予想されたため、実施日が延期となりました。そのため参加者の学校行事と重ならない日程の設定が課題です。

また、ロボット製作キットの経年劣化により稼働台数が減少傾向にあることです。

■成果

学校では実施しないような専門的なプログラミングの内容を取り入れることで、子供たちの「できた！」の感動と、楽しさを提供しました。

■活動の様子



■開催状況

全5回講座/年間3期

■主な活動場所

犬山市民交流センターフロイデ

■参加人数

8名/1期

■指導員数

2名/1期

こども土曜塾

－算数の学習支援－

■概要

市内の小学校4年生～6年生を対象に、7会場で、月2回、土曜日の午前9時30分～11時30分の2時間、計算力等の基礎的学力の向上を目的とした学習支援を行っています。

■特徴的なこと・工夫していること

教員OB等の講師や学習アドバイザーが、平均して児童20人あたりを4人体制で、参加児童の算数の習熟度に合わせた指導を行っています。

■プログラム内容

算数プリントや学校の教科書・計算ドリルを使っでの学習支援

■課題

きめ細やかな指導を行うために、より多くのボランティアの方に参加していただくことが課題となっています。

■成果

アンケートでは、「教え方が分かりやすかった」「勉強が少し楽しくなった」、「学校のテストで成果が出て頑張ろうという気持ちになった」という意見もあり、参加児童は楽しみながら学習を続けています。

継続して参加することで、子供たちの学力向上の場となっています。

■活動の様子



■開催状況

月2回

■主な活動場所

小学校などの公共施設

■参加人数

約104人／日

■指導員数

約29人／日

子ども学級

-公民館における体験活動-

■概要

「子ども学級」は、学校が休みとなる週末などに、子供たちが地域の人たちと触れ合いながら様々な体験をすることを目的とし、市内の小学生を対象に市立公民館で開催しています。

■特徴的なこと・工夫していること

市立の3公民館で活動しているサークルや地域の方々などが講師となって学級を開催しています。また、講座は、自然科学や和菓子作り、工作や絵画、書道、将棋など、子供たちが親しみやすい内容となるよう工夫しています。

■プログラム内容

自然・科学教室、工作教室、各種アート教室、英語教室、書道教室、将棋教室、和菓子製菓教室など、合計14プログラム。

■課題

多数の応募がありますが、会場の広さや子供たちへの目配りを考慮すると、参加人数が限られてしまうことが課題となっています。

■成果

多数の応募があり、参加した子供たちは楽しみながら活動をしています。

多様なプログラムにより、子供たちの体験活動に貢献しています。

■活動の様子



■開催状況

1館あたり年20回

■主な活動場所

市立公民館

■参加人数

平均15人/回

■指導員数

1講座につき原則1人

ふそう土曜教室

ー算数の基礎的学力定着を支援ー

■概要

町内在住の小学校3年生～6年生児童を対象に、町内4箇所の学習等供用施設において、毎月第2、第4土曜日（年間18回）の午前9時30分から午前11時30分までの2時間、算数の学習会を開催しています。

■特徴的なこと・工夫していること

教員OBが指導者となって、児童の人数が多い場所では参加者25人に対して指導者5人体制により、きめ細かな指導を通じ、学習支援を行っています。

■プログラム内容

算数プリント教材を使っでの個別学習支援

■課題

毎年、大変好評を得ており、参加人数や開催回数をもう少し増やし、よりきめ細やかな指導となるようにつなげたい。

■成果

アンケートの意見から「教室に通って分数の計算ができるようになってよかった」、「学校の算数の学習が分かるようになった」など、肯定的な回答が多かった。

■活動の様子



■開催状況

月2回

■主な活動場所

4箇所の学習等供用施設

■参加人数

約80人／回

■指導員数

19人／回

あいさい土曜キラリ☆学習・あいさい土曜チャレンジ☆学習

—地方の方々との連携—

■概要

あいさい土曜キラリ☆学習・あいさい土曜チャレンジ☆学習は、市内の小学校に通う全ての子供が対象です。地域の方々の御協力をいただきながら、文化活動、スポーツ活動、自主学習の支援を行う教室を用意し、月2回程度の教室を1年間継続して行います。

■特徴的なこと・工夫していること

地域で活動している文化団体・スポーツ団体・その他各種活動を行っている方々に御協力をいただき、幅広いジャンルの教室を用意しています。あいさい土曜チャレンジ☆学習では、学習のサポートとして教員OB・大学生ボランティアに加えて、地元の高校生ボランティアに御協力いただいています。

■プログラム内容

電子工作・自然探検・ボウリング・剣道・自主学習支援等

■課題

様々な教室を提供できるよう、地域活動団体等に呼び掛けて教室の開催協力依頼に努めています。

■成果

多様な学習や体験活動を行うことで、創造力や企画力など将来に必要な力を養います。

各教室1年間継続的に学ぶことにより、子供たちが地域の方々との交流をもつ機会にもなり、学校以外の交流から子供たちのコミュニケーション力を育みます。

■活動の様子



■開催状況

各教室 月2回程度

■主な活動場所

文化会館・公民館等

■参加人数

各教室 5-20名程度

■指導員数

各教室 約2名/日

草木小学校 みんなの食堂・学習支援

－小学生居場所づくりと学習支援の連携－

■概要

町の学校地域本部事業「おらが学校応援団」とも連動し、小学校4校、中学校1校のそれぞれの学校・地域の実情を踏まえ、地域ボランティアによる学校支援を行っています。その中で「土曜学習」の推進も推し進めています。

■特徴的なこと・工夫していること

土曜学習の枠組みは町内の各学校の実情に合わせて実施するため、規模や回数などは様々です。今年度、草木小学校ではみんなの食堂とタイアップして長期休業中に学習支援の機会を設ける新たな試みを行いました。

■プログラム内容

・夏休みの宿題、読書、工作など ・調理体験

■課題

活動内容の充実、幅広く地域のボランティアの方々の協力が得られる工夫を考えていきます。

継続的な指導者の発掘・育成、確保をいかに進めるかが課題です。

■成果

学習支援の枠組みと子ども食堂の枠組みをコラボレーションすることにより、子供の居場所としての新たな枠組みを創出することができました。

参加した子供たちはとても楽しく時間を過ごすことができました。

■活動の様子



■開催状況

夏休み 3日間

■参加人数

延べ42名

■主な活動場所

町内地区施設

■指導員数

5～10名

にしおチャレンジみらい塾

ーいろいろなことにチャレンジしようー

■概要

市内の小中学生の五感を刺激するために地域の多様な経験や技術をもつ人材の協力により、文化からスポーツまで幅広い子供たちの多様なチャレンジの場を提供しています。

■特徴的なこと・工夫していること

文化からスポーツまで71教室（令和6年度）を開催。参加料は無料にしています。

文化芸能教室は年に一度、発表の場を設けています。

■プログラム内容

陸上、柔道、剣道、茶道、ダンス、将棋など

■課題

開設20年を超える本事業については教室メニューに真新しさがないことが課題となっています。このため、今後は、人気のない教室を精査するとともに、子供たちのニーズを把握して新たなチャレンジの場を提供していきたいと思えます。

■成果

子供がいろいろなことに興味をもってチャレンジし、教室に参加することを楽しみ、のびのびと過ごしています。

教室に通うことで地域の方々、異年齢との交流をもつことでコミュニケーション力が向上しています。

■活動の様子



■開催状況

教室によって週1回または月1回

■主な活動場所

学校施設、公共施設

■参加人数

1,663人/全体

■指導員数

340人/全体